令和6年度

定期監査等結果報告書

尾鷲市監査委員

尾 監 第 1 8 0 号
令和 7 年 3 月 3 1 日

尾 鷲 市 長
尾鷲市議会議長
尾鷲市教育長
尾鷲市選挙管理委員会委員長 様
尾鷲市公平委員会委員長
尾鷲市農業委員会会長
各財政援助団体等の長

尾鷲市監査委員 民 部 俊 治

尾鷲市監査委員 濱 中 佳 芳 子

令和 6 年度 定期監査等結果報告

地方自治法第 1 9 9 条第 1 項、第 2 項、第 4 項及び第 7 項の規定等に基づき
監査を実施したので、その結果を同条第 9 項の規定により、次のとおり報告し
ます。

第1 監査対象及び実施日

対 象 部 署		監査実施年月日	掲載頁
1	会計課	R6. 5. 22	9
2	議会事務局	R6. 5. 22	9
3	総務課	R6. 5. 22	10
4	選挙管理委員会	R6. 5. 22	11
5	公平委員会	R6. 5. 22	11
6	監査委員事務局	R6. 5. 22	12
7	財政課	R6. 5. 29	12
8	環境課	R6. 5. 29	13
9	商工観光課	R6. 6. 26	14
10	教育総務課	R6. 6. 27	16
11	生涯学習課	R6. 7. 4	17
12	政策調整課	R6. 7. 4	18
13	防災危機管理課・消防団	R6. 7. 9	19
14	水産農林課	R6. 7. 19	20
15	農業委員会	R6. 7. 19	22
16	建設課	R6. 7. 24	22
17	税務課	R6. 7. 25	23
18	市民サービス課	R6. 7. 25	24
19	福祉保健課	R6. 7. 29	25
20	水道部	R6. 8. 19	27
21	尾鷲総合病院	R6. 8. 19	28
22	須賀利コミュニティーセンター	R6. 10. 1	29
23	九鬼コミュニティーセンター	R6. 10. 8	29
24	三木里コミュニティーセンター	R6. 10. 15	30
25	古江コミュニティーセンター	R6. 10. 29	30
26	賀田コミュニティーセンター	R6. 10. 29	31
27	曾根コミュニティーセンター	R6. 11. 1	31
28	須賀利センター	R6. 10. 1	32
29	九鬼センター	R6. 10. 8	32
30	北輪内センター	R6. 10. 15	33
31	南輪内センター	R6. 11. 1	33
32	矢浜小学校	R6. 11. 12	34
33	尾鷲小学校	R6. 11. 18	35
34	輪内中学校	R6. 11. 20	36
35	賀田小学校	R6. 11. 21	36

●財政援助団体に係る監査

36	協同組合 尾鷲観光物産協会	R6. 12. 25	37
37	社会福祉法人 尾鷲民生事業協会	R7. 1. 28	38
38	社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会	R7. 2. 4	39

●公の施設の指定管理者に係る監査

39	尾鷲市コミュニティバス 指定管理者：三重交通株式会社	R7. 1. 17	41
40	尾鷲市民文化会館（せぎやまホール） 指定管理者：公益財団法人 尾鷲文化振興会	R7. 2. 14	42

第2 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく定期監査

地方自治法第199条第2項の規定に基づく行政監査

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等に対する監査

2 監査の対象

(1) 令和5年度の財務に関する事務事業の執行、経営に係る事業の管理ならびに行政一般について

(2) 財政援助団体の財政援助に係る出納その他の事務執行及び公の施設の管理に係る出納その他の事務執行について

3 監査の実施方法

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、法令等に準拠し、最少の経費で最大の効果を挙げているかなど、経済性、効率性及び有効性に主眼を置いた監査を実施した。

なお、本年度は事前提出を求めた監査資料に基づき各所属長及び担当職員等から説明を受けるとともに、事前に関係諸帳簿及び書類等を調査し、次の事項を着眼点として、予算の執行状況、事務事業の執行と管理運営等について監査を行なった。

(1) 予算の執行は、適法かつ効果的に行われたか。

(2) 事務事業は、予算の目的に基づいて行われたか。

(3) 契約事務が公正適切に行われたか。

(4) 財産の取得管理、現金及び物品出納事務が適正に実施されたか。

(5) 補助金交付事務は、補助金等交付規則及び補助金交付要綱等に基づき適正に行われたか。

(6) 全庁的な組織運営が合理的に実施され、内部統制が有効に機能しているか。

(7) 指定管理業務は、法令及び協定書等に基づき業務及び会計処理は適正に行われたか。

(8) 前回、注意等を行った事項の処理状況はどうか。

4 監査の結果

各監査対象より提出された関係諸帳簿、証拠書類等を照合点検したところ、予算の執行状況については、概ね良好に実施されていることを確認したが、処理方法等の一部において改善を要する部分があり、自主的に対処するよう、対象部署及び団体等に対し指示を行った。

以降、改善を要する事項については「指摘事項」ならびに「注意事項」として、また、事務の効率化や、組織・運営の合理化に向け、改善すべきであると思われる事項については、「要望事項」として次頁以降に意見を列記した。

なお、「指摘事項」として記載した事項については、別途公表の上、措置を求めることがあるので、十分に留意されたい。

第3 全体に共通する注意・要望事項

市長部局、教育委員会及び各行政委員会に共通する注意及び要望事項

1. 契約関係書類の適切な整備と確認作業の徹底について

●注意事項

- ・長期にわたり継続して随意契約を行っている業務委託契約等において、必要とされる文書や関係資料の添付漏れ、随意契約理由等の説明（記載）不足と思われるものが見受けられた。
- ・特に、業務委託等において、受託者から受領した実施報告書の記載内容の不十分と思われるものや、担当課による履行確認作業及び検証作業の結果が不明瞭であるなど、履行状況の確認作業について不十分と思われるものが見受けられた。
- ・執行伺いや支出負担行為など、多くの契約関係文書において、説明記述の不足や誤り、資料の添付漏れ等が散見された。
- ・また、一部の工事設計変更理由について、説明（記載）が不足していると思われるものが見受けられた。
- ・工事打合せ簿、業務完了報告書や完成報告書等への氏名、年月日等の記入漏れが散見された。

●要望事項

・業務委託については、設計書、仕様書など、市が要求する内容に則った業務量、業務内容の履行が、受託者によって確実に実施されている事を示す（証明する）書類が、委託料の適正な執行を担保する上において重要であることを十分に理解し、業務が終了した際には、すみやかに受託者より明確かつ具体的な業務内容を記載した報告書を受領するとともに、場合により現場を確認するなど、その内容ならびに実施状況の確認作業の徹底を図られたい。

・担当課、担当者ごとに異なる処理も数多く見受けられたことから、文書等取扱規程、契約事務マニュアル、随意契約マニュアルなど各種規程の周知ならびに遵守と、丁寧な書類作成、複数の目による確認作業を職員に徹底させ、契約事務手順・手続き及び作成する書類の適正化を図られたい。

・工事、修繕等において、依然として変更契約件数の割合が非常に高い状況であるため、定期監査時において原課より様々な変更理由や考え方を聴取することとなった。

変更契約の理由については、その案件ごとに異なり、一概に評価することは非常に困難であるが、一般論として、特に大部分を占める増額変更契約は施工内容や請負金額が変わることにより、結果的に適切な業者選定の障害となってしまうことや、差金を利用した不正の温床につながるリスクを含んでいる。安易な変更契約の積み重ねは、入札制度そのものの形骸化を招く事にもつながりかねない、といった意見もある中で、よほど正当かつ合理的な理由のない限りは、やみくもに変更契約を行うべきものではないと考える。

不正防止やリスク軽減の観点からも、当初設計時等における事前調査を入念に行うなど、可能な限り設計変更の実施件数を減らす努力をしていただきたい。

2. 尾鷲市文書等取扱規程等の遵守とその整理・検討について

●厳重注意事項

・件数こそ減少しているものの、依然として多くの部署において起案文書など各種決裁文書における決裁年月日や発行年月日の記入漏れ、外部への通知文書や依頼文書に対する契印（割印）漏れが散見された。

●要望事項

文書等取扱規程を始めとする各種規定の遵守は、適切な文書の作成、管理を行なっていく上で非常に重要である。なお、この注意事項については、以前よ

り繰り返し指摘を行っており、徐々に改善されているところではあるが、各課において、依然として指摘が後を絶たないことから特に注意したい。

なお、この指摘については、あくまで現行の規定が遵守されていないことが課題であるが、昨今のDX化推進の流れや、住民サービス向上に向けての押印省略の動き等を受け、契印（割印）を含む押印の省略については、国、県等においても規定や様式の改定が進められているところであり、それらに対応して本市文書取扱規程においても、見直しが可能ではないかと思われる部分もある。書類を提出する側、受領する側それぞれの負担軽減や事務処理効率化の観点から、規定そのものの見直しについても積極的に検討していただきたい。

3. 補助金交付事業等における処理の適正化について

●注意事項

・補助金等交付事業に係る収支予算書、事業計画書、事業報告書、申請者からの提出資料等において記載誤りが散見された。また、交付申請書や実績報告書において申請者による申請年月日等の未記入や記入誤り、報告年月日等の記入誤りが見受けられた。

●要望事項

・補助事業を遂行するにあたっては、補助金交付要綱・要領等に規定される補助の趣旨・目的に適合しているか、補助率及び補助金額が適正であるかについて、厳正な審査を行い、重要なものについてはその実施状況について、記録として整理・保管していただきたい。

・交付申請や実績報告時など、補助事業者からの提出書類については、補助対象経費が明示されているかの確認や、仕訳書、領収書などの証拠書類の確認、審査を行うとともに、必要に応じて現場確認、検証等を併せて実施し、事業内容ならびにその成果が交付目的や交付要件に合致しているかに対する確認作業を徹底していただきたい。

また、交付（支給）後においては、補助金額の妥当性、事業効果の検証に加え、当該事業継続の妥当性についても検証作業を実施していただきたい。

・補助事業を翌年度以降も実施する際には、対象となる事業活動等の結果、期待した効果が得られたかについても十分な検証を行っていただきたい。

4. 市が事務局を受け持つ外部組織・団体の書類整理について

●注意事項

- ・市が事務局を担う外郭団体等の経理事務において、仕訳書への資料添付漏れ、押印（決裁）漏れや記入漏れ、記入誤り等が見受けられた。
- ・公用車運行日誌において、距離数、アルコールチェック等の記入漏れや記入誤りが散見された。

この件については、各課各々に改善が見受けられたが、依然として細かな誤りが散見しており、引き続き、担当者、上席など複数の目によるチェック体制の強化、確認作業の徹底を図っていただきたい。

5. 公の施設の指定管理に関する要望事項

●要望事項

（商工観光課に対して）

・「夢古道おわせ」の指定管理に対し担当課が実施しているモニタリング評価については、市が要求する幅広い各種指定事業を実施する施設としての性格を鑑みた場合、指定管理料のみではなく、事業に充当されるあらゆる収入を、その評価対象に加えるべきと考える。

温浴施設利用料や調理加工施設及び物販の売上等については、指定管理者が施設の運営管理を遂行する上において重要な財源となっていることから、市が指定管理者を調査、評価する項目に対し、指定管理料以外の収入についても加えていただきたい。

・尾鷲市地域資源活用総合交流施設光熱水費高騰対策助成金（2,868,000 円）については、助成金支給規則を制定の上で特定の指定管理者を対象とした支出が行われている。

燃料費の価格高騰など諸般の事情を考慮し、指定管理料の見直しを行う必要性が生じたことについては一定の理解ができるが、物価高騰等による経費の増加は他の指定管理者にとっても同様に、免れない課題となっていることは明白であり、何故今回、当該指定管理者のみに対する助成を実施したか。という点については、若干疑問を感じざるを得ない。

議会における担当課の説明では、燃料費などの光熱費が協定上の指定管理料対象経費に含まれていない状況と早急に支給する必要性に鑑み、安定した指定管理継続に向けて不足予想分に相当する額を助成金として支給した、とのこと

であるが、今回の場合は、他の指定管理者との公平性を期すためにも、時間的制約の有無にかかわらず、まず第一にこれまでの協定内容の検証を経て支給対象等の見直しを図り、合理的な指定管理料の支給(増加)額を算定した上で、その差額分について追加支給を行うべきではなかったかと考える。

いずれにせよ、助成金での支援を選択する場合は、当然その理由について、誰もが納得のいく説明を行う必要があると思われる。今後、このような追加支援を行う際には、可能な限り公平性についての配慮を行った上で、支給に至った経緯と、その際の検討・検証結果について市民に詳細かつ解りやすい形で説明するよう心掛けていただきたい。

6. 各地区センター及びコミュニティーセンターに共通する注意・要望事項

● 注意事項

- ・各種証明書発行業務において、申請書における記入誤りやチェック漏れ等が散見されたので、受理時における確認作業の強化を図りたい。
- ・戸籍及び住民票申請時に係る委任状の様式が複数存在しており、押印の必要性の有無について表現の異なるものが見受けられたため、出来る限り統一していただきたい。

● 要望事項

(市民サービス課ならびに庁内各課に対して)

・年々少子高齢化が進行し、特にセンター管内においては、支援の必要な住民の割合が比較的高くなっていることから、より多様かつ細やかな住民サービスが求められている。

各地区センターや各コミュニティーセンターは、地域住民に対する行政窓口として、様々なサービスとその案内・相談業務をはじめとする直接的な支援を行っており、住民の心の拠り所としての重要な役割を担っている。

特に高齢化が著しい地区においては、窓口における行政手続きについての質問をはじめ、市から送られてくる各種書類についての個別説明を求められることが非常に多くなっている。高齢住民へのサービス向上、ならびに地区センター及びコミュニティーセンター職員の負担軽減に向け、各課発送文書における表記、表現の工夫や、説明会の開催を含め本庁とセンター職員との連絡体制の強化について工夫、改善を検討していただきたい。

・現在各地区センター長とセンター管内の各コミュニティーセンター長につい

では1名の職員が兼務を行い、それ以外の各コミュニティーセンター長についても、別の本庁職員による兼務となっている。

更なる支援の拡充が求められている中、今後、地域住民にとって、各種サービスの実質的な低下や、災害時の対応力不足など、兼務であることによる様々な支障を招かないよう経験豊富な役職定年者を任命するなど、各センター長の配置のあり方について、改めて検討していただきたい。

・地元在住ではない職員が増えていることもあり、災害時における安心安全な避難所の確保・運営の観点から、まずは現場職員の安全確保が重要であると考えます。台風等の災害時における職員の待機の仕方や、応援（交代）職員の出勤体制については関係各課と協議の上、あらかじめ明確なルールを定めておいていただきたい。

7. 学校に対する注意・要望事項

● 注意事項

・会計諸帳簿において、記載誤りや記入漏れ等が一部見受けられた。第三者の閲覧にも耐えうる整理を念頭に、引き続き適正・適切な事務処理を徹底していただきたい。

・備品の一部において、実際には廃棄処分済みにもかかわらず管理台帳に反映されていないものが見受けられたことから、計画的な一斉点検の実施について検討されたい。

● 要望事項

理科実験用薬品については概ね管理台帳の整備がなされているが、一部の学校において、機器の老朽化等にともない、計量値にずれの生じているものが見受けられた。薬物の適切な保管・管理は、理科実験時等における正確性を確保するとともに、安心安全な学校運営に直結する重要な事項であることから、正確な値を測定できる計量器の配備をお願いしたい。

〔その他〕

その他、監査時に気づいた軽易な事項については、必要に応じて状況を確認の上、注意を行った。

次頁以降、各部署に係る注意事項等を列記する。

<1> 会計課

○予算執行の適正化及び出納事務の合理化を推進するとともに、資金の適正かつ効率的な管理・運用に努めている。また、支出命令書等の審査を通じ、会計事務に係る職員指導を行い、ミスの防止及びスキルアップに努めている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・契約関係の起案文書等において一部、発送年月日の記入漏れ、修正の不備、記載誤りが見受けられた。

・少額を理由とする随意契約関係決裁文書中において数量、単価、予算額等、根拠の不明瞭なものが見受けられたので、記載・記述を徹底されたい。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

・例月出納検査の結果等を踏まえると、依然として全庁的に関係各種法令、規則、基準、手引き、マニュアル等に準じていない不適切な財務処理が散見している。各課担当職員に対しては、引き続き「会計事務の手引き」の遵守について指導していただきたい。

・各課に対する支払遅延防止に関する指導の強化を図られたい。

・会計実務研修を定期的実施していただきたい。

<2> 議会事務局

○議会放送システム、タブレット配信システム等、議会設備の適切な運用、管理のほか、議員との調整やサポートを積極的に実施し、良好な議会運営に努めている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・委託業務において、一部、契約にかかる添付資料の不足が見受けられた。

・ 決裁文書において、鉛筆書きによる記述や、押印漏れが見受けられた。

● 要望事項

委託業務において、受託者の履行条件（要件）について確認した資料の不足しているものが見受けられたため整理されたい。

<3> 総務課

○ 人事評価制度を活用した職員の意識改革・人材育成に取り組むとともに、定員適正化計画に沿った厳正な定員管理と適切な職員配置を行っている。また、「尾鷲市職員のコンプライアンス行動指針」を策定し、不適切な事務執行や処理ミスの防止と、良好な職場環境の確保に努めている。

● 指摘事項

特に述べることはない。

● 注意事項

・ 一部の工事、修繕及び業務委託契約において、記載誤り、設計金額や予定価格の根拠資料の添付漏れ、入札結果表の不備、業者選定理由の欠如、随意契約理由の説明不足等が複数見受けられた。

・ 各種起案文書における、あて名及び発信者、決裁発送年月日の記入漏れが散見された。

・ 県内出張において出張命令書の確認できないものが見られた。

・ 時間外命令簿、公印使用簿、車両運転日誌において記載誤り、記入・チェック漏れ、命令権者の押印漏れ、不明瞭な記入、ホワイトマーカー等による不適切な修正が散見された。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

● 要望事項

・ 市全体の傾向として、文書作成時における細かな記載誤りや記入漏れ等が依然として散見している。主な原因として、法令等根拠の確認不足や、制度そのものに対する理解不足等が考えられるため、職員研修などを通じて、不適切な事務の防止を含むコンプライアンス推進の取り組みを強化されたい。

・ 行政財産使用料については適切に処理されているが、市政やまちづくりに

貢献している非営利団体や、ボランティア団体等の負担軽減に向け、減免減額の特例について検討していただきたい。

- ・財務会計事務に関する職員研修を定期的実施していただきたい。

<4> 選挙管理委員会

○公職選挙法に基づき、選挙が公明かつ適正に行われるよう、周知・啓発活動を行っている。近年においては、感染症予防や災害発生時への対応について検討をおこなうなど、安全対策にも取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・備品購入時において検収日と納品日に齟齬のあるものが見受けられた。
- ・委託業務検収調書作成に係る不必要と思われる起案文書が作成されていた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

特に述べることはない。

<5> 公平委員会

○不利益な処分を受けた職員からの不服申し立てに対し、公平中立な立場から準司法的な審査により職員の権利利益を保護し、身分を保証しようとする職務を司る行政委員会であるが、令和5年度における申し立ては無かった。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・同種文書でありながら収受処理方法の異なるものが見受けられた。
- ・送付文書と起案書間の日付の齟齬が見受けられた。
- ・鉛筆書きによる不適切な発行文書が見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

特に述べることはない。

<6> 監査委員事務局

○市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業管理について、適法、適正、かつ効率的に実施されているかについて、財務ならびに行政監査的な視点に基づく監査を実施している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

特に述べることはない。

<7> 財政課

○市税の減少等により財政状況が悪化するなか、今後集中が見込まれている大型事業の実施に向け、より効率的かつ効果的な財政運営が求められており、鋭意、財政の健全化に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・ 起案文書において、記載誤りや決裁年月日及び発送（施行）年月日の記入されていないものが散見された。
- ・ 請書に記載された関係書類の添付漏れが見受けられた。
- ・ 業務委託契約に関する文書に記入漏れや、日付の齟齬が見受けられた。
- ・ 普通財産使用許可書内に引用条文の誤りが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

- ・各種契約関係マニュアルの周知と適正な運用に向け、引き続き研修会等の職員啓発を図っていただきたい。特に財務会計事務に関する職員研修については定期的に実施していただきたい。
- ・庁内全般的に工事（修繕）変更契約の割合が非常に多い様に思われる。財政課におかれては、各審査会や予算執行伺い等の書類確認時において、担当課の作成する書類に対する確認・検証作業を徹底し、場合により助言、指導を行うなど、変更契約によって懸念される不正リスクの軽減に繋げていただきたい。

< 8 > 環境課

○持続可能な資源循環型社会の構築に向け、環境保全施策の推進に加え、ごみ減量の促進や、リサイクル推進等の廃棄物対策に取り組んでいる。また、効率的なごみ処理体制の構築に向けて「東紀州環境施設組合」が主体となり、広域ごみ処理施設整備事業を推進している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・起案文書において決裁年月日及び発送（施行）年月日が記入されていないものが散見された。また関係文書との日付の齟齬が散見された。
- ・設計書内の設計者及び検算者の押印漏れをはじめとする工事関係書類の押印漏れや、記載誤りが見受けられた。
- ・委託業務契約において、内訳書の内容に齟齬のある物や契約書内に記載された資料の不足している物が見受けられた。
- ・委託業務において、実績報告書の積算内訳書や合格通知書等の添付漏れが見受けられた。また、受託者からの報告書に記載漏れが見受けられた。
- ・入札関係書類における記載漏れが散見された。
- ・随意契約理由に根拠条文の記載誤りや、理由そのものが不明瞭なものが見

受けられた。

- ・物品購入時において業者選定理由書の不備があった。
- ・し尿汲取り作業関係書類に記載漏れ、押印漏れが散見された。
- ・車両点検・運行票において距離数の齟齬が散見された。
- ・自動車運行日誌において運転前後のアルコールチェック漏れや、記入誤り、記載漏れ。不適切な修正等が散見された。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

市民生活に直結する様々な業務を担っており、より一層、適切な業務の推進が求められている。上記のとおり、注意・確認の必要な事項が多数見受けられており、適切な事務執行に向け、課全体の書類作成技術の向上を図るとともに、その確認作業についても徹底されたい。

<9> 商工観光課

○みえ尾鷲海洋深層水については需要開拓を最優先事項としてブランド化等に取り組み、利活用促進を図っている。また、施設（アクアステーション）について、イベントを通じた PR の場や市民の憩いの場に利用するなど、観光資源としての有効活用を進めている。

○商工振興においては、地域特産品の消費拡大や、新たな販路の拡大に取り組むとともに、地域と一体感を持ったイベント等の実施を通じ、継続的な誘客や雇用人口の増加、地域経済の活性化に繋げている。

○観光振興については、集客イベントの開催をはじめ、まちなかの活性化や魅力アップ、地域資源の PR などを実施し、誘客に向け効果的な情報発信に努めている。「夢古道おわせ」等の関連施設を活用した体験型観光交流事業の立て直しが課題の一つである。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・委託業務（アクアステーション管理）に係る関係書類において、押印漏れ

や記載誤り、修正漏れ、添付資料の不備等が散見された。

- ・みえ尾鷲海洋深層水利用協議会の仕訳書の一部において、押印漏れや記載誤り、整理不十分なものが見受けられた。

- ・販路開拓支援補助金に係る実績報告書において訂正印漏れ、記入誤り、経費精算額の誤記載等が見受けられた。また交付申請書において修正テープによる不適切な修正や記載漏れ、確定通知書内に記載された日付の齟齬等が見受けられた。

- ・負担金や補助金の支出において、関係文書が一連の簿冊に整理されていないなど、書類整理に課題のあるものや、交付要領において、金額の確定にかかる条文の追記が必要と思われるものが見受けられた。

- ・起案文書において決裁年月日及び発送（施行）年月日が記入されていないものが散見された。

- ・各種契約関係書類において、記載誤りや記載漏れ、添付資料等の欠如が見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

- ・近畿自然歩道維持管理委託については、一者に対する特命随意契約が行われているが、特定の事業者を選定する理由や、他の業者による業務遂行が不可能である理由についての説明（記述）が、やや不足している様に思われた。

さらに他の施設管理（清掃）業務委託（野鳥の小径管理業務、観光トイレ管理業務など）においても、仕様書、設計書等に業務内容や規模、内訳についての記載が不十分な部分があり、受託者から受領した業務完了報告（書）についても、業務の実施状況、内容が具体的かつ詳細に示されていないものがあり、随意契約の正当性を示す根拠として十分ではないと判断し得るものもあった。

第三者に疑義を生じさせず、適切な業者選定、適正な随意契約であることを証明するためには、より詳細かつ具体的な業務内容、内訳を示した仕様書（設計書）の作成や、それに対する履行状況を明確に記録した実績報告書の受領、担当者による適切な履行確認作業が必要である。また、随意契約理由（書）の記載については明確かつ丁寧におこなうなど、各種書類作成や審査作業の強化・徹底を図り、適正な業務委託料の支出に繋げていただきたい。

・様々な集客イベントが実施されているが、市外の人が多く来訪することで本市にとって有益な様々な効果が生じていると思われる。そのことについては、可能な限り市民にとって分かりやすい形で示していただきたい。

・アクアステーションの収支状況を鑑みると、毎年のように実質的な赤字状態が続いている。これまでもPR活動や、需要開拓、販売促進、取引先との交渉など様々な経営努力がなされているが、海洋深層水事業の適正な運営・管理に向け、より一層知恵を絞りつつ、赤字解消に向けて計画的な取り組みを図っていただきたい。

<10> 教育総務課

○尾鷲市教育大綱や、令和5年度からの新たな教育ビジョンに基づき、現有する7つの学校の校舎、体育館、プール、教員住宅等の施設管理、学校配置計画、奨学金の支給、学習内容の研究・評価、教育図書採択、学校給食の実施ほか、地域、家庭、学校・園が連携・協力して、子どもの健やかな成長を支える教育環境づくりを推進している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・執行伺い書における記入漏れや、支出負担行為書における合議漏れ、見積徴取の際の書類添付漏れや日付の齟齬等が散見された。また、契約締結前の随意契約理由や見積徴取書類等が綴られていないものも見受けられた。

・工事関係通知文書に記載誤り、記入漏れが見受けられた。

・起案文書において記載漏れや、記載誤り、日付の齟齬等が見受けられた。

・車両日常点検及び運行実績報告書において業務責任者の押印漏れ、不適切な修正等が散見された。

・公印使用簿ほか各種書類において訂正印漏れが散見された。

・スクールバス運行管理業務日報において酒気帯びチェック欄の無記入が散見された。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

- ・上記記載のとおり、引き続き改善を必要とする事項が数多く見受けられたことから、適切な事務執行に向け、書類確認作業の徹底と、職員の処理技術の向上を図りたい。
- ・スクールバスにおいては、安全な運行管理が強く求められることから、運行管理面での関係書類などの適切な確認作業を徹底するとともに、委託事業者への指導についても強化されたい。

<11> 生涯学習課

○生涯学習係

社会教育事業の一環として、尾鷲の豊かな自然や歴史・文化、地域コミュニティーの力を活かした学びや体験と連動した放課後こども教室を推進している。また、二十歳のつどい（成人式）運営団体への支援や、少年センター、天文科学館の運営、郷土室における資料の整理、指定管理者制度を活用した市民文化会館の管理運営、熊野古道をはじめとする文化財の保全、生涯学習施設の耐震化の推進等を担っている。

○スポーツ振興係

安全・安心かつ快適なスポーツ環境を提供するため、老朽化しているスポーツ施設の維持管理をはじめ、多目的スポーツフィールド整備、体育文化会館の耐震長寿命化改修事業などに取り組んでいる。

○図書館

狭いスペースを工夫し利用者が手に取りやすい書棚整備に取り組んでいる。また、図書館の利用が不便な地域への配慮として、各地区コミュニティーセンターへの団体貸出や、保育園、学校、ボランティア、福祉保健課等と連携し、子どもの読書環境の整備にも取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・他市町公営プール利用補助金関係の起案文書において決裁年月日及び発送年月日等の記載漏れや、鉛筆書による加筆、修正テープによる不適切な修正

が散見された。また、施設による確認印が不鮮明のものや申請日の訂正印もれが見受けられた。

- ・地域間交流活動推進事業補助金申請書において、資料の記載内容に一部誤りが見受けられた。

- ・事務局として経理を受け持つ外郭団体の文書に代表者印の押印漏れ、修正印漏れが散見された。

- ・見積書提出依頼文書、契約決定通知書など外部への発行文書において、記載誤りや割印（契印）のないものが見受けられた。

- ・運行日誌において運転前・運転後アルコールチェック欄の未記入や、確認者名の記載漏れが散見された。

- ・修繕に係る設計書の設計者及び検算者の押印漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

生涯学習課が事務局を受け持つ外郭団体の書類において、仕訳書の綴り忘れや、決裁印漏れが散見された。また、補助金支給関係書類に不適切な方法での修正が見受けられた。担当者（事務局）や上席など複数の目による確認作業がおろそかになっている状況が見受けられるため、適切な文書の整理・保管を徹底していただきたい。

<12> 政策調整課

○市政運営の中核として、総合計画をはじめとする各種計画の策定及び遂行、政策立案、企画調整等を通じて市政運営を担っている。S E Aモデル構想における企業誘致の推進、地域住民のニーズに合った交通体系の確保（ふれあいバス）に努めるとともに、DXの推進、広報紙・ホームページ・エリアワンセグ・SNSなど各種媒体の特色を活かした情報発信を行っている。また、ふるさと納税の推進、地域おこし協力隊による地域活性化、定住移住促進施策の推進等に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・各種起案書において、決裁年月日及び発送年月日の記載がないもの、見積徴取依頼書や契約決定通知書などの施行（発行）文書に契印（割印）の無いものが見受けられた。
- ・業務委託設計書の設計者及び検算者の押印漏れが見受けられた。
- ・委託業務完了報告書について、受理年月日記入漏れと受領者押印漏れが見受けられた。
- ・事務局として経理を受け持つ外郭団体の文書に代表者印の押印漏れ、収受文書の記載誤りが見受けられた。
- ・備品購入執行伺書における決裁日付の記載漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対して、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

一部において、注意・確認が必要な事項が見受けられたことから、適切な事務執行を徹底されたい。

<13> 防災危機管理課・消防団

○南海トラフ地震により想定されている甚大な被害に備え、自主防災組織や各関係機関との連携による避難路の点検・整備や、防災教育を通じた啓発活動の推進などを通じ、住民 1 人ひとりの防災意識の向上、地域の防災力の向上に取り組んでいる。また、避難施設、避難場所、避難経路の整備など、減災に向けた取り組みを推進している。

○（消防団）地震や台風等への防災活動をはじめ、火災の初期消火活動など、消防団の責務が多様化するなか、施設装備及び資機材の充実や、減少している団員に対する加入促進、人材育成、資質の向上等が喫緊の課題となっている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・各種起案文書において、決裁年月日及び発送年月日の記載のないものが数多く見受けられた。

- ・見積書提出依頼書に提出時刻の記載のないものが見受けられた。
- ・見積結果表に押印漏れが見受けられた。
- ・契約決定通知書に契印（割印）の無いものが見受けられた。
- ・須賀利消防団車庫建設工事設計書に設計者印、検算者印の押印漏れが見受けられた。
- ・受託業務(県)の完成報告における起案文書の見当たらないものがあった。
- ・補助金の起案書や、支出負担行為書に財政課合議のないものが見受けられた。
- ・出張復命の起案書に復命者の記載の無いものが見受けられた。
- ・車両運行业務日誌において訂正印漏れ、アルコールチェック漏れが散見された。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

- ・上記に記載のとおり、昨年度に引き続き改善を要する事項が多く見受けられたことから、適切な事務執行に向け、職員の研鑽、研修等を積極的に行い、職員の処理技術の向上と、担当者間、上席など複数の目による確認作業の徹底を図らねたい。
- ・備品保管点数の多い中、野外使用のものなど、一部において管理番号の消えかかっているものが見受けられた。適切な保管・管理を継続していくためにも、消えかけている番号について補記を行っていただきたい。

(消防団について)

被災地での前例を見ると、避難所運営や被災者支援、復旧、復興作業における女性（職員）の配置が重要視されている。消防団員に関しても女性団員の加入促進に対し力を注いでいただきたい。

<14> 水産農林課

○農林振興係（農政）

担い手の高齢化や後継者不足等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、地域おこし協力隊の活用や、企業の農業参入、老朽化した農業用施設整備等への支援の他、有害鳥獣による被害への対策を担っている。

○農林振興係（林政）

長期的な立木価格の低迷、林業従事者の減少、高齢化などの課題があるなか、森林の有効活用に向けて森林整備の促進や、木材需要拡大事業、カーボンニュートラルによる森林環境価値の可視化等に取り組んでいる。

○市有林係

市有林の管理、森林整備を主とし、森林環境保全直接支援事業や、近年においてはJクレジットの取得、みんなの森プロジェクト事業を推進している。

○水産振興係

魚価の低迷、担い手不足など、厳しい状況が続く水産業に対し、漁場環境の保全やモニタリング、水産資源の増殖、養殖技術開発、魚病対策、水産物流通対策等の振興策を実施している。

○基盤整備係

老朽化がみられる漁港施設の修繕や維持管理、機能保全計画に基づく工事、林道路線における施設の老朽化や損傷等の劣化に対する修繕、維持管理等を担っている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・各種工事関係書類に押印漏れや記載誤り、修正テープによる不適切な修正、関係資料の添付漏れ等が散見された。
- ・各種起案文書において、決裁年月日及び発送年月日の記載のないものが見受けられた。
- ・車両運行日誌において、訂正印漏れ、記載漏れ、アルコールチェック欄の記入漏れ等が散見された。
- ・補助金交付申請書への担当者所見の記入漏れや、日付の記載誤り、実績報告書における表記誤りが見受けられた。
- ・中山間地域等直接支払事業における交付金割当内示の日付に齟齬が見受けられた。
- ・みどりの食料システム戦略緊急対策交付金関係書類において、番号、日付等の記載誤り、発行文書の割印（契印）漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対して、それぞれ具体的に改善指導・指示

を行った。

●要望事項

多岐にわたる先進事業に取り組まれているが、いずれも成功、発展すれば将来の尾鷲市にとって好影響が期待できる有意義な事業であると思われる。

その多くが市民や地域おこし協力隊、市内外の事業所、企業など、外部の人材の関わり方が重要な要素となってきた。引き続き、市民への丁寧な情報提供を行うとともに、今後の積極的な取り組みに期待したい。

<15> 農業委員会

○農業委員会は、農地法に基づく売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地の調査・指導等を中心に、農地に関する事務を執行する行政委員会である。近年では遊休農地の把握や農地バンクの運営、農業の担い手確保に関する施策に力を注いでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

特に述べることはない。

<16> 建設課

○道路、河川、橋梁、砂防及び街路等の維持管理・修繕、市営管理建築物及び都市計画事業等の調査、設計、施工及び監督、港湾施設の管理業務などを担っている。また、都市公園施設の修繕及び維持管理、老朽化の著しい市営住宅の管理運営や地籍調査業務等に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・各種起案文書において、決裁年月日及び発送（施行）年月日の記入漏れが見受けられた。
- ・見積書提出依頼文書の日付記載に、一部齟齬のあるものが見受けられた。
- ・委託業務関係文書において、一部決裁漏れ、日付の記載誤り、押印漏れ等が見受けられた。
- ・契約関係書類において発行文書に契印（割印）のないものや、決裁年月日の記入漏れ等が見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

- ・随意契約、変更契約の割合が非常に多い状況の中において、適正な契約理由（書）を整備することは非常に重要であり、適正かつ正当な理由に乏しい随意契約や変更契約は厳に慎むべきであると考えます。

引き続き、設計、積算時における事前調査や確認作業を可能な限り実施し、事業を取り巻く状況（現況）を十分に勘案した上で、適正かつ正当な随意契約理由や変更設計理由を作成し、記録として残されたい。

また、随意契約、変更契約の正当性、透明性の確保に向け、その検証結果の市民への公表について検討していただきたい。

- ・市営住宅使用料未収金については、尾鷲市債権の管理に関する条例に基づく適切な管理をお願いしたい。

<17> 税務課

○市税収入が減少傾向にある中、頻繁に実施される税制改正に対応しつつ、公平で公正かつ正確な賦課に努めている。また徴収に関しては、新規滞納者を作らないための納期内納付についての啓発や、督促状の送付、納税相談による納付誓約の締結、財産調査を経た上での滞納処分、三重県地方税管理回収機構を活用した滞納整理など、税負担の公平性の確保に努めている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・市税執行停止綴において集計表への金額の転記誤りが見受けられた。
- ・不納欠損伺書において担当者名の記入漏れが見受けられた。
- ・見積徴取依頼書及び契約決定通知など外部への発行文書に対し割印（契印）が押印されていないものが見受けられた。
- ・落札決定通知において、一部記載誤りが見受けられた。
- ・出張命令書等の訂正に際し訂正印漏れが見受けられた。
- ・公印使用簿にチェック漏れが散見された。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

一部ではあるが、注意・確認が必要な事項が見受けられたことから、適切な事務執行を徹底されたい。

<18> 市民サービス課

○総合窓口係

戸籍システム、総合住民システム、住基ネットワークシステムの運用による業務の効率化や簡素化、窓口対応時間の短縮等を図り、市民サービスの向上に努めている。また、マイナンバーカードの取得推進とともに、制度を活用した手続きのデジタル化・広域化の整備を進めている。

○市民生活係

自治会活動への加入促進、組織の強化、増加する空き家の適正管理の促進、斎場の計画的修繕、共同墓地の管理及び道路整備事業に伴う折橋墓地移転事業、コミュニティーセンターの管理運営、集落支援制度の推進等、幅広く市民サービスの提供を行っている。

○国民健康保険係

一人当たり医療費の更なる増加が見込まれるなか、国保財政は厳しい状況が続いており、運営主体である県との連携による適正な運営が望まれている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・工事契約関係書類において、一部、押印漏れや工期、人数等の記載誤りが見受けられた。
- ・工事請負者からの報告書に誤記のあるものが見受けられた。また、補助金申請の際に受理した証明書に記載漏れが見受けられた。それぞれの受領の際には記入内容の確認作業を徹底していただきたい。
- ・戸籍謄抄本住民票交付申請書において記載漏れやチェック漏れ、担当者名の記入漏れや訂正印が押されていないものが散見された。
- ・入札関係書類の一部に記載誤りや割印（契印）漏れが見受けられた。
- ・各種起案文書に決裁年月日及び発送年月日の記載誤りや記載漏れが見受けられた。
- ・一部、業務委託関係書類における日付の記入漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

戸籍謄抄本住民票交付申請書受領の際の取扱いにおいて内規（本人確認時の取り扱いについて）に準拠していないものが散見された。本庁窓口をはじめ、各出先の窓口（地区センター、コミュニティーセンター）における、申請書等の受理や処理方法について、統一した取扱いを行えるよう、担当職員に対する規定の周知徹底を図っていただきたい。

<19> 福祉保健課

○高齢者福祉係

「地域包括ケアシステム」の深化・推進、高齢者福祉事業、保護司会、民生委員・児童委員に関すること、社会福祉協議会への支援や、養護老人ホーム聖光園の指定管理、さらには各種助成・給付事業、老朽化した福祉施設の維持管理など、多岐に渡る事業を担っている。

○自立支援係

生活保護の適切な実施、就労支援事業などの生活困窮者自立支援事業、障がい福祉計画に基づく各種障がい者福祉施策、地域生活支援事業、物価高騰対策生活支援給付金の給付、発達支援センター設置に向けての紀北町との協議、療育教室の開催、隣保館の利用促進ならびに人権啓発等を受け持っている。

○子育て支援係

少子化対策及び子育て支援として、放課後児童クラブ、子ども医療費助成事業、子育て相談会等の実施をはじめ、子育て支援団体への活動支援、多子世帯支援事業、児童手当、特別児童扶養手当等、多岐に渡る支援・給付事業を推進するほか、令和7年度において輪内地区に小規模保育施設の開設を予定している。

○健康づくり係

令和5年度においては母子保健健診事業、成人保健事業の充実、予防接種事業、感染症予防対策事業、健康増進事業、救急医療体制強化事業、メンタルヘルス事業等を実施するなど、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより停滞していた保健事業体制の再構築に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・各種起案文書において、決裁年月日及び発送（施行）年月日の記入漏れが見受けられた。
- ・補助金支給に係る受領した補助金申請書内の金額の記載誤りや、添付資料における日付の記入漏れ等が見受けられた。
- ・受領した給付金申請書においてチェック漏れや記載漏れが見受けられた。
- ・車両運転日誌において運転後のアルコールチェックの記入漏れや日付の記載誤り等が見受けられた。
- ・見積徴取依頼書の一部において、割印（契印）押印漏れや、見積依頼に係る法的根拠の記載漏れ等が見受けられた。
- ・委託業務において仕様書内の表記誤り、検収調書における記載誤り等が見受けられた。
- ・修繕執行伺書において履行期間の記載漏れが見受けられた。
- ・事務局を受け持つ外部団体等の仕訳書において、記入漏れや押印（決裁）漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った

●要望事項

- ・福祉事務所長に対する事務委任規則については、関連法の改正に伴い、法

との整合性がとれていない部分が見受けられるため、規則の改正を視野に入れた検証作業を実施していただきたい。

・福祉関係の業務においては、頻繁に実施される制度改正や新規施策等による業務量の拡大が顕著であるように思われる。業務が煩雑となる一方で、各種書類作成時における記載誤りや記載漏れ、支払い遅延等の注意事項件数がなかなか減少しないという課題も生じている。業務への職員のモチベーションを保ちつつも、事務処理後のチェック体制の強化について、引き続き取り組んでいただきたい。また、業務分担のあり方や人員配置の見直しについて機構改革を含め、人事担当課を交えての検討を提案したい。

<20> 水道部

○人口減少や大口需要の減少により給水収益が減少するなか、「尾鷲市水道事業経営戦略」に基づき、計画的に管路診断、配水管布設替工事、改良工事等の施設更新を実施し、有収率の向上やコスト削減等に取り組んでいる。投資・財政計画の進捗管理を行なう中、令和6年度には13年ぶりとなる料金改定を実施している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・業務委託仕様書の計算者印において押印漏れが見受けられた。
- ・公印使用簿において日付や通数の記入漏れや訂正印が押されていないものが見受けられた。
- ・一部、起案書において決裁年月日及び発送年月日の記載漏れが見受けられた。
- ・切手受払簿において訂正印漏れが見受けられた。
- ・公用車使用簿においてチェック欄等の記入漏れや、記載誤りが見受けられた。
- ・入札関係書類の一部に押印漏れや、入札年月日の記載誤りが見受けられた。
- ・業社より提出された施行計画書において提出年月日の記入漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

特に述べることはない。

<21> 尾鷲総合病院

○二次救急医療施設、へき地医療拠点病院、災害拠点病院としての機能を有する自治体病院として、365日・24時間の救急医療体制の維持に努めるなど、地域医療におけるセーフティネットとして、地域住民の生命と健康を守っている。医療圏人口の減少により医業収益が減少するなか、令和5年度末に策定した「尾鷲総合病院経営強化プラン」に基づく病院運営を行い、地域住民が安心して医療サービスを受けられるべく、安定した経営を目指している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・ 執行伺書ほか契約関係書類の一部において日付の齟齬、記載漏れ、割印（契印）漏れが見受けられた。
- ・ 各種起案書において決裁年月日及び発送年月日の記載漏れが見受けられた。
- ・ 業務委託の検収調書において日付の記載誤りが見受けられた。
- ・ 出張命令書、時間外命令簿において押印漏れ、日付の記入誤りが見受けられた。
- ・ 公印使用簿においてチェック欄、文書番号等の記載漏れや訂正印漏れが見受けられた。
- ・ 運行日誌においてアルコールチェック欄の記載漏れが見受けられた。

※ 上記注意事項については、原課に対し、それぞれ具体的に改善指導・指示を行った。

●要望事項

医療県人口の減少による受診者の減少や、諸物価の高騰に伴う医療費用の増加等により医業収益で医業費用を賄えない状態が続いている。このような財政状況を打開するため、更なる病院経営の効率化に努めていただきたい。

<22> 須賀利コミュニティーセンター

○「みんなが共に支え合い暮らせるまち」「みんなが安心して健やかに暮らせるまち」を目指し、人口減少、高齢化の進む中、講座の内容や施設の利用促進等を工夫しながら、住民一人ひとりが健康寿命を延ばせるような取り組みを目標に活動を行っている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

住民にとって地区センターと、コミュニティーセンターとの隔たりは無いと考えられ、地区センター職員とも連携し合いながら窓口業務にあたられていることを確認した。

地区の高齢化率が非常に高い中で、住民への対応がますます高度化、困難化していくことが予想される。引き続き、住民がコミュニティーセンターへ足を運びやすい環境作りに取り組んでいただきたい。

<23> 九鬼コミュニティーセンター

○少子高齢化が進み、独居老人の割合が増える中、生きがいや楽しみが持てる居場所づくりを念頭に、気軽に参加できる新たな講座の開催等により、住民の活動拠点となるよう努めている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

施設の使用許可申請書において、一部記入誤りが見受けられた。正確な書類作成を徹底されたい。

●要望事項

特に述べることはない。

<24> 三木里コミュニティーセンター

○過疎化、少子高齢化が進む中、積極的に講座、教室を開催し、生涯学習並びに地域づくりの活動拠点として、誰もが気軽に集まり、会話ができる場所としてのセンター運営に努めている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・コミュニティーセンター使用許可申請書において、押印もれ、記入漏れ、記入誤り等が散見された。

・切手受払簿において、一部項目の不足している部分が見受けられたため、整理されたい。

●要望事項

使用許可申請書等の書類については、受理した際における記入事項の確認作業を徹底し、適切な文書の作成、保管に繋げていただきたい。

<25> 古江コミュニティーセンター

○コロナ禍の影響で縮小されていた行事等も再開し、地域で支え合い健康で楽しく暮らせるまちづくりを目標に、地域住民の協力のもと活動拠点としての役割を担っている。また、令和5年度は古江・賀田・曾根・梶賀コミュニティーセンター4館合同事業（輪内の和）の事務局を担当している。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

一人暮らしの高齢者が多い中、安否確認を兼ね、男性の講座参加者を増やす取り組みを行って頂きたい。

<26> 賀田コミュニティーセンター

○地域の少子高齢化が進む中で、コミュニティーセンターの活動を通じ、みんなが元気に安心して暮らせる町、世代間の交流、近隣地域のふれあいや連携など「人づくり」や「まちづくり」につながる活動を目標として、誰もが気軽に参加できる講座を開設するなどの取り組みをおこなっている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

コミュニティーセンター使用許可申請書において、記入漏れ、押印（訂正印、受付印）漏れ等が散見されたので、正確な業務執行を徹底されたい。

●要望事項

一人暮らしの高齢者が多い中、安否確認を兼ね、講座への参加者を増やすよう取り組んで頂きたい。

<27> 曾根コミュニティーセンター

○コミュニティーセンターが地域住民の交流と生きがいづくりの場となるよう、活動を進めるとともに、これらの活動を通して郷土の自然や文化資源に親しみ、魅力を再認識してもらい継承に繋げることを目標に、各種講座や文化活動に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

郷土資料館を持つ施設として、展示物など文化財について、他地区への巡回展示や、積極的な情報発信を行うなど、郷土教育の中心としての役割に期待したい。

各地区センター

戸籍・住民票、印鑑登録証、税務関係証明書等の各種証明書及び埋火葬許可書の発行、母子手帳の交付、市税の収納、し尿汲み取りなど、様々な窓口業務を行うほか、地区からの要望等の取りまとめを担っている。

以下の地区センターに対しては、事前に提出された書類を照査した上で、現地を訪問し監査を実施した。

<28> 須賀利センター

○地区人口の高齢化率は 90%を超えており、高齢者に配慮した地域づくりが重要な課題となっている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

特に述べることはない。

●要望事項

(市民サービス課ならびに庁内各課に対して)

住民の高齢化が著しく、窓口における行政手続きについての質問をはじめ、市から送られてくる各種通知書類についての個別説明を求められることが非常に多くなっている。高齢住民への配慮、ならびに地区センター及びコミュニティーセンター職員の負担軽減のためにも、発送文書における表記、表現の工夫や、本庁各課とセンター職員との連絡体制の強化を行う等の工夫、改善を検討していただきたい。

<29> 九鬼センター

○所管区域（九鬼町、早田町）の高齢化率は 68%に迫っており(令和6年7月31日現在)、高齢者に配慮したセンター運営が求められている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

戸籍・住基関係証明書交付申請書において、一部記入漏れ、記入誤りが見受けられたことから、適切な事務執行を徹底されたい。

●要望事項

特に述べることはない。

<30> 北輪内センター

○所管区域（三木里町、三木浦町）の人口減少が続くなか、高齢化率は63.8%（令和6年8月31日現在）となっており、高齢者に配慮した地域づくりが求められている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・税務証明書交付申請書ならびに同申請の委任状において押印漏れや、記入漏れが見受けられた。

・住民票（写）等の交付申請書において年号等の記載漏れが見受けられた。

●要望事項

特に述べることはない。

<31> 南輪内センター

○所管区域（古江町、賀田町、曾根町、梶賀町）の人口減少が著しいなか、令和7年2月末現在で高齢化率が70%を超えており、より高齢者に配慮した地域づくりが求められている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

証明書の申請書において、一部、申請者による記載誤り（齟齬）が見受けられたため、慎重かつ適切な事務処理の徹底を図られたい。

●要望事項

特に述べることはない。

小学校、中学校に対する監査

以下の4校に対しては、事前に経理簿、支出負担行為決議書兼支出命令書、市費振込通帳出納帳、切手受払簿、公印台帳、公印使用簿、校外文書件名簿（文書処理簿）のほか、各種事業簿冊、負担金、寄附採納簿、PTA会計、給食会計等に係る簿冊、ならびに薬品台帳、備品台帳、図書台帳等の事前提出を受け、照査した後に現地を訪問し、備品、薬品、図書等に加え、施設全般の管理状況を確認した。

<32> 矢浜小学校

○「よく遊びよく学びふるさと矢浜を愛する児童の育成」を学校教育目標として、「信頼される学校」「元気いっぱい子ども」「子ども・保護者に慕われる教職員」を目指した学校経営に取り組むとともに、少子高齢化や生活困窮など社会の変化に伴う諸課題に対し、保護者や地域と連携しつつ積極的に対応を行っている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・ふるさと教育支援事業簿冊及びPTA会計簿において、一部記載誤りや記入誤りが見受けられた。
- ・備品については概ね適正に管理されているが、台帳において、一部記載誤りや廃棄漏れが見受けられた。
- ・理科室や理科準備室の薬品の管理において、一部薬品台帳上の残量と監査時の測定量に差異が見受けられた。時期を定め、一斉点検を実施するなど適切な管理を徹底されたい。

●要望事項

就学支援については、指導力向上のための授業研究など、積極的に取り組

まれている様子が伺える。家庭ごとに課題が多様化しており、保護者によってそれぞれ考え方が異なる場合も多いと思われるため、今後も保護者と十分なコミュニケーションをとりつつ、丁寧に向き合っていていただきたい。

<33>尾鷲小学校

○東紀州で最大規模を誇る尾鷲小学校は、翌々年度には創立 150 周年を迎える。「笑顔・笑い声のある学校」「いじめをしない」「よく遊び、よく学ぶ」を令和 6 年度の約束に掲げ、「元気・本気・やる気でがんばる子の育成」「安全・安心で子どもが活躍できる学校の創造」を教育目標に置いた学校経営を行っている。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

・PTA 会費関係簿冊において、一部記載誤りや資料の添付漏れが見受けられた。

●要望事項

・公印（「校長印」及び「学校印」）については、他校と同様に、尾鷲市会計規則の定めるところにより「備品」として台帳に登録の上、管理していただきたい。また、公印使用簿においては、それぞれの印のいずれを使用したかを明確にするため、様式に種別欄を設けるなど適切に管理されたい。

・一部備品について台帳上の廃棄漏れが見受けられた。また、保管薬品の一部において、薬品台帳における残量の記載誤りが見受けられた。ともに定期的な点検、計量を計画的に実施するなど、適切な備品管理、薬品管理を徹底されたい。

（担当課：教育委員会に対して）

学校施設設備の一部において、老朽化、故障により小学生が使用した場合に危険と思われるものが見受けられた。小学校側と綿密な連絡をとった上で、修繕、撤去等を適宜実施し、安全・安心な学校施設の運営に繋げていただきたい。

<34> 輪内中学校

○「生きる力を基本に、未来を切り拓く生徒の育成」を学校教育目標に置き、「すべての生徒が安心して学べる学校」を目指す学校像として、地域の協力を得ながら学校経営に取り組んでいる。近年においては、英語教育や海外の学校との交流など、少人数の強みを生かした学習に力を注いでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・公印や寄附を受けた備品において備品台帳に登録されていないものが見受けられた。市の規則等に準じ適切に管理されたい。
- ・薬品使用整理記録簿において、記載誤りや訂正印漏れが一部見受けられた。

●要望事項

- ・今後も、少人数であることを生かした学習指導を継続し、地元の産業体験などを通じて地元を理解し、市に貢献できる生徒を育てていただきたい。
- ・薬品の適切な管理については学校安全上非常に重要であり、理科実験に支障をきたさないためにも、備え付けの薬品計量器については、普段より正確な計測ができる状態を保っていただきたい。また、管理台帳と残量との照合・点検作業については定期的実施していただきたい。

<35> 賀田小学校

○「一人ひとりの学びを保証し、ともに学び合い育ち合う児童の育成」を学校教育目標として、地域住民の協力を得ながらトチの実学習や、尾鷲節の歌い方など、地域の文化に触れて郷土愛を育てる学習指導を行っている。また、英語教育にも積極的に取り組んでいる。

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・給食会計簿において、一部記載漏れや記載誤り等が見受けられた。

・薬品使用記録簿において訂正印漏れ、記入誤りが見受けられた。

●要望事項

引き続き、少人数、複式学級での強みを活かし、マンツーマンによる丁寧で行き届いた学習指導を行っていただきたい。

財政援助団体に係る監査

以下の財政援助団体については、対象となる事業が関係法令ならびに補助金等の交付基準や交付要領等に従って適正に実施されているか、市が求めた効果が十分に得られているか、担当課による検査・検証作業が実施されているか等について、提出された決算報告書、実績報告書、関係諸帳簿等の関係資料にて確認の上、現地を訪問し、一部担当課立会いのもと監査を実施した。

<36> 協同組合 尾鷲観光物産協会 (担当課：商工観光課)

○協同組合尾鷲観光物産協会は、本市の自然、歴史、文化、農林水産物、伝統技術・芸能、人材などの地域資源を活用して観光、物産の振興を図り、地域の活性化に寄与することを目的とした団体であり、令和6年12月現在で組合員数は116事業者となっている。

下記補助金の対象事業として、市が主催するイベントへの協力や、熊野古道を含む地域資源の保全及びPR、各種観光案内、特産品の紹介、関係事業者に対する中間支援、クーポン券事業など来訪者を増加させるための事業を行っている。

また、自主事業として、尾鷲まるごとヤーヤ便事業や、市から受託しているふるさと納税返礼品の発送業務、物品販売、観光ツアー等を含むその他の収益事業を行っている。

補助金名	補助金額 (円)
尾鷲観光物産協会補助金	10,646,000

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

一部、経理関係書類において記載誤りや記載漏れ等が見受けられたので、適切な書類整理に務められたい。

●要望事項

・補助金の、より適正かつ有効な活用に向け、担当課は協会に対し、協会の事業運営の健全化に対する協議を積極的に行っていただきたい。

・ホームページ、SNS等を活用した情報発信は、観光物産協会の目指す事業を達成する上で非常に重要であると思われる。特に協会ホームページについては、協会会員に限定せず、常に市内全体を網羅するようコンテンツの拡充を心掛け、適宜更新をおこなうなど、更なる改善・充実を図っていただきたい。

<37> 社会福祉法人 尾鷲民生事業協会

(担当課：福祉保健課)

○市内唯一の認可事業所として、令和5年度は6つの保育園と1つの認定こども園の経営を担っている。国県市の支援を活用しながら、人口減少、少子化に伴う園児数の減少への対応、職員の処遇改善、職場環境の改善に努めるなど、安心安全な保育事業の提供に努めている。

補助金名	補助金額(円)
認可保育所特別助成事業補助金	11,459,250
看護師配置補助金(尾鷲乳児保育園)	5,004,000
低年齢児保育充実事業費補助金(尾鷲乳児保育園)	951,000
障害児保育対策事業費補助金(第一・第二・第三・ひのきっこども園・矢浜・南輪内)	34,920,000
延長保育事業補助金(第一、尾鷲乳児保育園)	5,820,000
南輪内保育園大規模修繕に係る元利補給金	1,667,954
認可保育所修繕事業補助金	1,600,000
尾鷲市給食費支援事業補助金(第一・第二・第三・ひのきっこども園・矢浜・南輪内)	9,840,695
保育補助者雇上強化事業補助金(第三・ひのきっこども園・尾鷲乳児保育園)	6,984,000
尾鷲市放課後児童支援員等処遇改善事業補助金(わんぱくクラブ)	264,000
使用済みおむつの保管用ゴミ箱等購入費補助金(第二・第三・ひのきっこども園・矢浜・尾鷲乳児保育園)	363,000
合計	78,873,899

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

給食費支援事業補助金における実績報告書において、一部記載誤りが見受けられた。また、補助金とは直接関係のない書類においても記入漏れや転記誤りが一部見受けられた。今後も、適正かつ正確な書類作成に務められたい。

●要望事項

- ・障害を持つ児童への対応や、感染症対策の強化など、保育士を取り巻く労働環境が著しく高度化している中で、保育士の確保については、益々困難となっている事が伺われる。そのような中、今後も保育士に対する処遇改善や、人員確保に対する工夫を行い、健全な保育所運営に努めていただきたい。
- ・わんぱくクラブについては参加希望児童が多い中、施設が十分に活用されてないように思われる。旧尾鷲幼稚園部分を利用した活用面積の拡大について、その所管換えも含め、教育委員会と協議していただきたい。

<38> 社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会 (担当課：福祉保健課)

○社会福祉協議会は、地域福祉を推進する社会福祉法人として行政の補完的な役割が求められている。各種福祉関係団体、行政など幅広い関係者と連携しながら、増加する多種多様な生活課題に対し、住民が主体となった解決に向けて先進的な取り組みを進めつつ支援を行っている。近年では、成年後見人制度の利用促進を図るなど、必要な支援の提供及び円滑な運用に向けて、市と共に中核機関としての役割を果たしている。

補助金名	補助金額 (円)
尾鷲市社会福祉協議会運営費補助金	45,257,462

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

提出のあった補助対象経費内訳資料の一部に記載誤りが見受けられた。適正かつ正確な書類作成に務められたい。

●要望事項

- ・各種事業に対する市民の評価は高いと思われる。今後も国の制度等を上手

く活用しながら、人材不足の解消や、サービスの質を維持しつつ収益を上げる工夫を模索していただきたい。

- ・各種事業の相談窓口については、相談者の条件によってはハードルが高い面も見受けられる。社協に対し気軽に相談できるような体制作りと相談窓口そのものの PR を更に強化していただきたい。

- ・成年後見人制度をはじめとする社協が実施する事業について発信するホームページについては、市役所ホームページとの相互リンクを付加するなど、閲覧する人が便利かつ興味を持って閲覧できるよう改良を行っていただきたい。

公の施設の指定管理者に係る監査

公の施設の指定管理者に係る監査については、それぞれの協定書等に基づき施設が適正に管理されているか。指定管理業務に係る事務処理が適正に実施され、効果が十分に発揮されているか。また、担当課による検証が適切に実施されているか等を着眼点とし、以下の指定管理者に対し関係書類の提出を求めた上で事業概要の聞き取りを行った。

<39> 尾鷲市コミュニティバス (担当課：政策調整課)

○過疎、少子高齢化が進行するなか、市民の移動手段の確保を目的に、ふれあいバスの内、尾鷲地区（尾鷲駅から紀伊松本間及び市街地巡回）及び須賀利地区の路線について、「尾鷲市コミュニティバス」として指定管理者制度により運行している。持続可能な公共交通構築のため利用者ニーズの把握に努め、尾鷲市地域公共交通活性化協議会による協議のもと頻繁にダイヤ改定が行われている。

- ・ 指定管理者：三重交通株式会社
 - ・ 指定期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日
 - ・ 指定管理料：17,290,029円
- (尾鷲地区 10,043,361円、須賀利地区 7,246,668円)

収入の部（尾鷲地区）		支出の部（尾鷲地区）	
科目	決算額（円）	科目	決算額（円）
指定管理料	9,806,821	人件費	7,212,656
利用料金収入	1,641,309	車両修繕費	665,566
		燃料油脂費	1,179,670
		管理費用	474,375
		任意保険料	274,554
		車内収入(相殺分)	1,641,309
小計	11,448,130	小計	11,448,130
収入の部（須賀利地区）		支出の部（須賀利地区）	
科目	決算額（円）	科目	決算額（円）
指定管理料	7,483,208	人件費	6,023,145
利用料金収入	287,540	車両修繕費	233,370
		燃料油脂費	641,208
		管理費用	500,000
		任意保険料	85,485
		車内収入(相殺分)	287,540
小計	7,770,748	小計	7,770,748
合計	19,218,878	合計	19,218,878

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

- ・尾鷲地区運転月報における走行距離等の転記誤り、運転者名や給油量等の記入漏れや記入誤りが散見された。
- ・須賀利地区運転月報において、走行距離の転記誤り、運転者名や給油量等の記入漏れ、車両運転日誌の綴り忘れ等が散見された。

●要望事項

過疎高齢化が進む中、地域住民の生活を支える足として、コミュニティバスは重要かつ不可欠のものとなっている。今後も担当課と連携し、持続可能な運営に務めながらも利用者のニーズを十分に把握し、利用客の拡大や利便性の向上を図っていただきたい。

【担当課に対して】

補助券の発行など、利用促進に向けての PR については、工夫しつつ今後も積極的な実施をお願いするとともに、指定管理者と協力し、その効果に対する検証作業を実施していただきたい。

<40> 尾鷲市民文化会館（せぎやまホール）（担当課：生涯学習課）

○平成5年に開館した尾鷲市民文化会館は、市民の文化・芸術、教育、福祉の増進、地域の産業振興等に資する施設として、公益財団法人尾鷲文化振興会により、管理運営と自主文化事業の企画・開催が実施されている。

- ・指定管理者：公益財団法人 尾鷲文化振興会
- ・指定期間：令和5年4月1日から令和7年3月31日
- ・指定管理料：44,349,000円 令和5年度分

収入の部		支出の部	
科目	決算額（円）	科目	決算額（円）
管理受託収益 （指定管理料）	44,349,000	事業費	43,183,001
基本財産運用益	5,382	管理費	6,868,638

事業収益	4,233,269		
雑収益	120		
合計	48,587,771	合計	50,051,639

※正味財産増減計算書より

●指摘事項

特に述べることはない。

●注意事項

一部書類における記入漏れ。支出伝票等への記載誤りや、決裁印漏れ、請求書への検収印漏れ等が散見されたため、確認の徹底と適切な対応を図りたい。

●要望事項

・現文化会館ホームページについては、一定の更新は行われているようであるが、リンク切れや文字、画像の小ささが気になるところであり、より利用者が閲覧しやすく、集客につながる魅力的なものへの更新について検討していただきたい。

また、SNS を活用した情報発信など、施設職員自らの増客への工夫が反映されるような取り組みを積極的に実施していただきたい。

・文化振興会の各規程間において、一部不整合な部分が見受けられたため、早期の修正をお願いしたい。

【担当課に対して】

・築30年を経過し老朽化した施設であることを念頭に、計画的な修繕を実施していただきたい。また、館内照明に関しては、経費の掛からないLED照明への転換を進めていただきたい。

・関係資料によると、尾鷲文化振興会の令和4年度及び令和5年度の収支決算額は、それぞれ340,658円、1,463,868円の赤字となっている。指定管理者制度導入の目的は、指定管理者が安定した収入源を得ることにより経営が安定することで、そのノウハウを生かした住民サービスの向上を期待できる所にあると言える。従って赤字による経営は、必ずしも住民サービスの向上には繋がらないものとする。

担当課においては、人口減少や燃料価格の高騰などの要因を考慮しつつ、施設の利用拡大に向けての方策や、コロナ後において目指すべき事業規模等

について、文化振興会との綿密な協議のもとで検討すると共に、利用料金収入他の収入見込みや、事業に係る経費についての検証作業を実施し、より適正かつ適切な指定管理料に向け、適宜見直しを図っていただきたい。